

# 泉

# improvement

インプルヴメント：向上-改善

2014年6月

Vol.20 (20版)

### [基本理念]

我社は、成長と危機の歴史を教訓とし、常に企業の本質を問い、明日への飛躍をめざす。

株式会社

三田商會

### [環境方針]

環境との調和を最優先とした行動を推進し、地球に優しい企業を目指し、未来社会の創造に貢献する。

発刊責任者  
栃山 義和

## 上期の振り返り

上期を終え、数字的には比較的良好い結果で49期を折り返すことができました。公共関係の受注と一部のお客様からの大型受注もあり、プラス要因になりました。しかし、内容を見ると継続性が難しい公共関係や一部のお客様からの受注だけが伸びており、全体的には数字で見えるほど長くはありません。



黒田社長

また、上期は不良在庫も通常より多く発生してしまい、コスト面でのダメージになりました。ある程度は致し方ない部分もありますが、社員一人ひとりがコストに

## 下期の動き

下期は、一部の企業や業種だけでなく、社会全体に設備投資が浸透していくかが課題です。一部のお客様と公共事業だけでなく、他のお客様も平均して良い方向に行って欲しいものです。

上期が良かったからと言って、決して安心できる状態ではありません。下期においても気を抜くことなく、常に緊張感を持って各自の役割を果たしてください。



対する意識を高めていって欲しいと思います。



## 日本と業界の動向

メーカーからの報告では、海外との取引比率が伸びていて、国内取引は現状維持あるいはマイナス傾向にあるとのこと。このことは当社にとっても業界全体にとっても、厳しい環境にあると言わざるを得ません。しかし、当社が納めた製品が海外に輸出されることが多いということは、厳しいばかりの状況とも言えません。直接海外との取引があるわけではありませんが、当社が納めた製品が最終的にどこでどう使われていくかを考えると、海外の動きにも関心を持っていくべきだと思います。

今は日本経済の転換期にあると感じています。これまでの日本は製造業でモノづくりをして、海外に輸出するという貿易立国でした。今後、産業構造は大きくは変わりませんが、川下産業が日本に戻ってくることは、現状では考えにくいことです。貿易収支は連

## チャレンジ

上半期、売上については20%近くの伸びがありました。しかし、今後につながるものが少なく、不安が残ります。大きな受注もありましたが、利益率は思ったほど良くはありませんでした。

下期そして来期は、先が見えないからこそ、新しい取り組みをしていかなければならないと思っています。更に、商品・サービスに付加価値をつけていくことをしていかないと生き残ることはできません。当社でも新しい商品の取り扱いや新しい分野への進出を計画しています。これからは既存の商品やサービスに拘らず、新しいものにもどんどんチャレンジしていきます。



# 厳しい環境だからこそ チャレンジし続ける

続赤字が続けていて、経常収支も日本は厳しい状況にあります。しかし、このような逆境だからこそ、川中・川上産業はむしろチャンスではないでしょうか。当社としてここが勝負所だと思います。

# 上期を折り返し、 目標達成に向けた行動を



土肥専務

## 新入社員への期待

今年4月に6名の新入社員を迎えることができました。多くの社員を受け入れることで、採用した側としての責任と緊張を感じています。新入社員の皆さんに期待することは、まず当たり前ですが「あいさつ」、そして、「自分らしさ」を出せるように積極的な言動をすること。さらに、自分の部署だけでなく、他部署のスタッフともコミュニケーションを取って、社内の様々な仕事の内容に興味関心を持って、自分の仕事がどのように他部署と連携し影響を与えながら仕事が流れていくかを感じ取ってもらいたいです。

## 売上確保の特効薬はない

今期から主力ユーザーに対して営業マン2名体制で担当しています。1人では対応しきれないことや、各自の持つ得意分野を生かす意味でも2名で担当すると決めました。しかし、現実とはなかなかうまくいっていません。そもそも、訪問そのものもできていないところもあります。皆それぞれ忙しいという理由が第一ですが、当社にとって「主力」である以上、予定の中にきちんと訪問を組み込んで、スケジュールリングしてください。

今一度、各自、今期始めに立てた目標を達成するように行動を見直してください。現時点で目標未達の方は当初の予定よりさらに営業時間を取るように行動計画を立て直し、目標に向かいましょう。



## 仕事の広がり

今期新しい取り組みとして、5月にMEX金沢という見本市に出展しました。出展した3Dプリンタには、来場者の皆さんに興味を持って頂き、話題提供と会社のPRになったと手ごたえを感じています。

また、今後お客様は民間だけでなく、官公庁への期待もしています。当社は富山高専とのつながりがありますので、先生方からのアドバイス、市場の状況など教示頂きながら進めていければと思います。先生方と付き合いしていくからには、当社の社員も、専門知識や一般常識を身に付けるなど質を上げていく必要があります。

## 社員一丸で49期を乗り切る

第4四半期の7月以降は大型案件を予定しており、物流においては莫大な量が発生する予定です。これまでは担当部署が残業や休日出勤などで対応していましたが、今期はなるべくその負担を軽減するために、人員配置などを工夫するつもりです。全社一丸、一致団結して49期を良い形で終え、記念すべき50期を迎えたいと思います。皆さんよろしく願います。

# 新しい仲間です



板倉裕子／東京女子大学卒業



長谷川翔平／金沢大学卒業



西野達也／専修大学卒業

東京16年目にして地元富山の企業に入社でき、とても嬉しく新鮮な気持ちです。富山弁の飛び交う東京営業所は安心感があり、戸惑うことなく新しい仕事に取組んでいます。まずは早く仕事を覚え、何事にも意志のある提案を心がけ、皆さんと会社を盛り上げていきたいです。ご指導よろしく願います。



仕事においては右も左もわからない状態ですが、先輩方の温かいご指導により、新しいことを学ばせて頂く毎日を送っています。現在は主に検品、納品業務を行っています。商品知識を身に付け、よりスムーズに作業をこなせるようになることが今の目標です。



今年の4月に入社し、現在、お客様への検品、納品業務の手伝いをさせてもらっています。今はまだわからないことが多々あり、周りの方々にご迷惑をかけ、支えて頂いていますが、これからは早く一人前になれるように、一生懸命努力していきますのでよろしく願います。



# 人の力を最大限に発揮し 全員で理念に向かう



京免取締役

## 新入社員への責任

今年4月、6名もの新入社員を迎えました。中でも、社員のお子さんが入社されたことは当社としても初めてのことで、大変喜ばしく感じています。親の背中を見て子どもが後を継ぎたいと思う、そういうふうにも思ってもらえる会社であり、そのような仕事をしていると思うと、社員に伝えていく会社にならなければならぬと思います。入社して良かった、夢のある会社で良かったと思ってもらえるように、会社としても成長していかなければならないと気の引き締まる思いです。

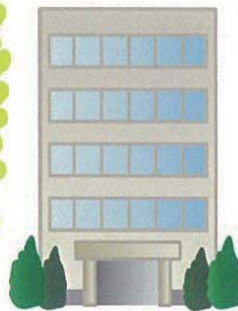
## 繁忙からのチャンス

下期に入り、4〜5月は概ね例年通りの売上ですが、7月以降は大きな仕事が入ってきています。これまで経験したことのないことですが、これは当社としても大きなチャンスです。人員投入も行き、体制はしっかりと整えて準備しているつもりです。人の力は3+3+6ではなく3×3+9の力を発揮できると期待しています。このチャンスを有効に使って、会社としても大きく飛躍したいものです。

## 会社の理念

当社の理念は、どれだけ社会貢献できるかにつきると思えます。富山県はモノづくりの県であり、全国的にも1位2位の企業を私達は支えています。取引先様に、「三田でなければ...」と言った頂き、他社様にも、富山県はモノを作る企業もすごいけど、提供する会社も素晴らしいと評判になることが理想です。

会社の理念は、方向を間違えたと全く違った会社になってしまっています。今一度、私達の仕事は社会とどのように関わっているかをよく考え、プライドを持ちましょう。



## 目に見える夢

年度末になると、一部お取引先様より、売上報奨金があります。この一部を自己資本に「教育研修費用積立金」という任意の積み立て勘定を設定し、社員の研修費や資格取得にかかる費用は全てここから出していきます。残ったものはそのまま積み立てていき、10年後にたまった資金で研修棟を建てるのが夢です。資本勘定に積み立てることとは、株主総会で決議を頂かなければならないことで、まだ私の構想の段階です。夢が目に見える形で進んでいくのが今から楽しみです。研修棟は単なる研修施設ではなく、社員の皆さんにとってもオアシスになるような建物にしたいと思っております。ぜひ楽しみにしてください。



中井美沙 / 立教大学卒業



古村枝里子 / 富山大学卒業



吉田美諭 / 金沢大学卒業

私はどんなことにも真剣に取り組む社員を目指します。ただ与えられた仕事をやるのではなく、1つ1つの仕事が自身の成長につながるよう、日々何か新しいことを学び身につけていきたいです。  
1日でも早く、お客様や社員のみなさんから信頼して頂ける人間になれるよう頑張ります。



入社して早2ヶ月経ちましたが、毎日が学習の日々です。  
不慣れで失敗もありますが、御指導を頂き、確実にひとつひとつ成長していきたいと思っております。  
努力を忘れず、皆様から信頼を頂けるように頑張りますので、これから宜しくお願い致します。



日本の製造業を支えていけたらというのが就活中の私の秘めたる野望でしたが、まだまだ基本的なところから学ぶべきことが多々あると気が付きました。したがって、私の抱負は、「1日ずつ成長していく」です。  
つまり1年後には365日分成長しているはず。ご指導のほどよろしくお願ひします。

# 第49期 全体会議



新しい仲間が加わり、  
49期折り返し  
目標達成に向け全員の  
力を結集!

4月19日(土)午後3時より、  
とやま自遊館ホールにて社員66  
名が参加し第49期全体会議を開  
催しました。

会議は黒田社長より現在の経  
済状況による当社ならびに業界  
への影響について、土肥専務より  
49期下期営業本部方針について、  
京免取締役より49期上期決算報  
告と続きました。次に各部署(10  
部署)からの改善提案発表を行  
いました。これらの提案は今後有意  
義なものになるよう努めます。

また、全体会議終了後は、新入  
社員歓迎会の開催で大いに盛り  
上がりました。

平成26年永年勤続表彰者  
勤続10年 花本理恵子

これからも、よろしく  
お願いします。

## ◆◆◆ 新入社員歓迎会 ◆◆◆



6月8日、いっちゃん!リレー  
マラソン2014にチーム三田  
商会として、195チームがエント  
リーするハーフマラソンの部に  
初参加してまいりました。  
いよいよ11時のスタート時刻  
となり、号砲一番・第一走者の水  
野さんが声援の中、私たちの前を  
駆け抜けて行きました。その後は、  
スタッフ、選手の皆さんがランナ  
ーに声援を送り、戻ってきたラン  
ナーをハイタッチで迎え入れて  
いる姿があり、チーム三田商会の  
一体感が生まれました。  
水野さん、佐々木さん、中井さ  
ん、八町さん、古村さん、長谷川  
さん、増山さん、西野さん、吉田  
さんと繋がれたたすきは、いよいよ  
アンカーの中川亮さんへと渡  
り、最後の周を終え仲間の待つ  
ゴールへ!

## いっちゃん! リレーマラソン2014 に初参加して!



## 推進委員会報告



皆でたすきを繋いだ記録は1  
時間47分13秒 参加195チーム中  
84位の成績でした。今回、この  
チームで得た絆と感動は、記録よ  
りも皆さんの記憶に残るものであ  
って欲しいと願っています。そし  
て本大会参加にあたり、ご協力を  
頂きました推進委員会メンバー  
と従業員の皆さんに感謝申し上  
げます。ありがとうございました。



エコアクション21の本社・砺  
波・金沢の中間審査と併せ東京支  
社(東京営業所・西関東営業所)  
の拡大認証審査を3月20日に本  
社で受けました。  
審査内容で一部に改善を求め  
られ対応策を出した項目があり  
ましたが、概ね良好で、これまで  
の実績と併せ高評価を頂く結果  
となりました。その後、審査人か  
ら中央事務局へ推薦して頂き、5  
月中旬に東京支社を含めた全社  
認証の登録を頂きました。全社認  
証を機に引き続き「企業活動によ  
って環境負荷を削減することは  
社会に対する責任である」との認  
識を全社員で共有し、更なる改善  
活動をすすめていきます。

## エコアクション21 審査報告

新たに東京支社が  
加わり、全社認証と  
なりました!

